

平成28年度 施政方針・予算を問う!



無所属の会 市民の力 ● 森 すなお 議員

施政方針から

問 施政方針では、「健全な自治、民主政治を実現するために、何でもかんでも行政に請け負わせるという社会を大きく転換し、市民が自分たちの主要な仕事である公共の職務をそれぞれ自分たちで担う気概が必要である」とあり、「何でもかんでも行政頼みにならず、自分たちでしなさい」との意味と理解しますが、市民に具体的に何を求めているのですか。

答 全てのことに関して、自分たちが関わり、自分たちのまちをつくるという意味です。

予算から

問 「ゆらら」では、リフトの故障で、介護風呂を改修することですが、利用者に十分配慮した入浴用車イスの購入、「入浴しやすい、させやすい」改修を早期に着工するように求めます。また、高齢

者や障がい者の入浴料を半額にする「湖南市補助金制度」がありますが、この負担はどこがしているのですか。

答 観光協会に支払っている指定管理料のうち、一般財源で充当している部分が該当します。

問 予算編成方針では、「市民目線」で得た「市民ニーズ」に基づく「きめ細やかなサービス」を盛り込んだ予算をめざしていますが、平成28年度の全事業を掲載した予算説明資料では、全236ページのうち、議会の要望や提案を背景とする事業は6ページ、率にして2.5%しかありません。市民の皆さんの声を代弁している議会の意見が反映されていない予算だと考えるのでは。

答 法令や総合計画に基づく事業がほとんどですが、一度精査して後日報告します。

平成28年度 施政方針・教育方針を問う!



湖南市公明党議員団 ● うかい やち子 議員

湖南市施政方針から

問 新年度予算へ平成26年度決算の反映は。

答 経常収支比率の改善を行いつつ「市民との協働による活力ある湖南市を目指し、市民の安心と暮らしを支え、ともにまちづくりを高める施策」をいかに行うかが新年度予算編成の最大の課題でした。平成26年度決算における経常経費充当三一般財源マイナスイナス5%のシーリングを行い、徹底した削減を目的としたヒアリングで政策経費の財源を確保しました。

問 移住定住を促進するための支援策は。

答 「婚活支援事業」と、「UIJターン就職促進事業」により、移住定住に向けた支援を検討しています。市内在住の方はもちろんですが、市外から湖南市に移住定住を考えている未婚者を対象に、湖南市PRを盛り込んだ婚活イベントの実施や、結婚・出産

子育ての不安を相談できる結婚相談員の養成も考えています。

問 生活困窮者自立支援事業の取り組みは。

答 住居確保給付金・家計相談支援事業に加えて、貧困の連鎖防止のための学習支援事業として、学力の補充や居場所づくりを行います。

湖南市教育方針から

問 学校を核としたまちづくり(スクールコミュニティ)の考え方と連携・協働とは。

答 コミュニティスクールは学校の運営形態であり運営改革ですが、スクールコミュニティは、学校の校舎内を含む施設開放を積極的に行い、放課後や休日に地域への開放を通して、地域活動を活性化する地域づくりのイメージです。まちづくり協議会との連携・協働が必須となります。